

1995年3月15日 No. 18

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤 一郎

東京都港区新橋3-21-7 松本ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

# 全国一般全国協

## 今こそ権利春闘の出番だ 労働者犠牲「ノー」の声を上げよう！

全国一般全国協書記長 遠藤 一郎

### 自粛論を吹き飛ばせ

阪神大震災は多くの人命を奪い、今なお十万人を超える被災者が避難生活を強要されている。被災直後の、水や食べ物の確保が第一優先だった時から二カ月近くたち、抱える問題も少しずつ変化し始めている。街を、住まいを、生活(仕事)をどう再建していくのか。多くの労働者が深刻な問題に直面している。このような中で、九五春

闘本番が開始されようとしている。そこで聞こえるのは「自粛論」ばかりだ(震災が人災によりさらに被害が拡大された問題点、便乗解雇をゆるさない、被災者が主人公になった阪神の再建等は別の面を取り上げる。関西財界のトップが、「バレンタインデーなど」と浮かれている場合ではない)と語り、我慢の生活を強要し始めている。阪神大震災



▲ 94.3.24 統一ストライキ (東京)

をベアゼロ攻撃の口実に使おうとしている。それに呼応するがごとく、連合各組合の闘争放棄宣言があいついでいる。

阪神、阪急電鉄労組が私鉄統一交渉から離脱、神戸製鋼労組、JR西日本労組が春闘要求断念、N T T情報通信労連がスト権確立放棄などなど。さらに、戦後直後を除いてストなどやっ

たことのない電力労連の「スト放棄宣言」までが大げさに報道される始末だ。しかも、阪神地区に限らず、資本は、「今時ストライキやるんですか、時世に合わないですよ」(宮城の自動車学校経営者)などと自粛ムードに悪のりしてきている。

われわれは、この「自粛ムード」を跳ね返し、「今こそ権利春闘の出番だ」「大幅賃上げで生活防衛を」「首切り反対、解雇制限法の制定を」を掲げ、ストラ

イキをかまえ、職場で、地域で攻勢的に九五春闘を闘おう。

全国で果敢に春闘を闘い、その成果を、阪神地区の街

### 「安全」と「弱いものを強者から守る」ため 労働分野の規制緩和反対

阪神地区のなかでガソリンスタンドは不思議と崩壊が少なかったそう。町中にガソリンという危険なものを貯蔵するため、厳しい規制が加えられていたからだという。一方、新幹線の崩壊した橋桁の中に、コンクリートならぬ木材が多く発見されたという。大手ゼネコンの手抜き工事が犠牲を大きくしたといえる。

しかし、JR当局は、「これくらいの混入は問題ではない」と強弁している。この事実、規制緩和に関し考えをなす契機をわれわれに与えている。今はやりの「規制はすべからず悪」と

住まい、生活(仕事)の再建に取り組み仲間への支援に当てていくことこそ、われわれの任務だ。春闘終盤の上積み額を阪神地区の働く仲間への連帯資金とする「阪神連帯100」運動を合い言葉に、全国の闘いと阪神地区を結ぶ九五春闘を闘い抜こう。

この闘いの重要性を再確認し、労働者の権利を職場に、地域(社会)に確立する闘いを九五春闘の柱にし闘おう。

# 震災救援をやり抜き、復興春闘95を闘おう

大阪では、全労協とユニオンネットワークで、恒例の「春闘連続集会」「大阪総行動」などが企画され、開始されんとした時、あの大地震が襲いかかった。もちろん、各地での救出・安否確認から始まり、緊急物資輸送など、各労組は全力投球した。行政や政治が全く不在な中、被災者とボランティア（そのうち労組の行動力は抜群）が助け合い、苦難を乗り越えてきた。大阪全労協をセンターにした炊き出し・物資輸送に加え、

阪神合同労組と共同で「震災一雇用ホットライン」を開設した。また、ゼネラルユニオンは、外国人（ビザの有無を問わず）対象の震災対策（避難・保険・雇用など）の力を注いでいる。ゼネラルユニオンでは死亡、自立労連では重軽傷の組合員まで出た。また操業が困難だった企業（小原流やタカラブネ）だけでなく、産業活動の停滞による倒産や不況が、各職場を覆いつつある。そして、震災を理由とした解雇、賃金遅配など、

## 全国協義援金集約2/9第1次分

合計 1,800,000円弱

### 全国協義援金渡し先

- 全国協内被災組合へカンパ
  - ゼネラルユニオン 200,000円
  - 小原流本部職員労組 200,000円
  - 自立労連神戸支部 200,000円
  - 東京南部音著労組 200,000円
  - 東京南部ISAユニオン 200,000円
  - 東京南部ラボ労組 100,000円
- 他団体へのカンパ
  - 全労協現地対策本部 100,000円
  - 大阪全労協炊き出しカンパ 100,000円
  - 全港湾 200,000円
  - 外国人労働者ネットワーク 200,000円
  - 部落解放同盟本部 50,000円
  - 韓民統連 50,000円
  - 障害者救援 50,000円

どの嵐が吹き始めた。そこでわれわれは、「反合・権利・生活・行政」の諸闘争を結合した「復興春闘」として「九五春闘」を再構築することとした。労組と被災者がスクラムを組み、「便乗解雇反対」「仕事よこせ」「住宅よこせ」と、各企業や行政に押しかけねばならない。「神戸線が崩壊したから」と言っているに、料金所労働者二五十名を解雇した「阪神高速道路公団」へは当該労組とわれわれとの共同抗議行動が

威力を発揮している。全国一般中央の「対政府交渉」もあって、ほぼ勝利は間近い。他にも、神戸港や新幹線の壊滅と復旧、その過程における雇用問題を、真正面に据え「復興春闘」を闘う決意である。そのために、行政・政府（労働者・建設省・運輸省など）へ押しかけることはもとより、JR・道路公団・ゼネコンなどとの全面対決も辞さない。

## 震災直後に全国一般関西春闘交流会開催 全国協・友誼団体20労組参加

大阪 2/4



▲ 兵庫高校でうどんの炊き出し

阪神大震災から二週間後の二月四日、大阪で「全国一般全国協・関西春闘交流会」がもたれた。小原流など被災の大きかった労組や、救援でフルに動いているメンバーは出席できなかったが、二十近い労組が参加し、救援と九五春闘に、と大いに盛り上がった。中岡委員長の方針説明のあと、やはり議論は震災対策に集中、各職場や労働者の被害報告が続いた。

だが、全国一般はしたたかに頑張っている。自らの被害を克服しながら、各地での救援の最前線に立ち、自立労連や金属一般・西成合同労組は、各避難所で奮闘しており、また、ゼネラルユニオン・京都ユニオンは、震災一労働相談に取り組んでいる。さらに徳島全国一般は、鳴門を越え、淡路島への物資輸送、といった大奮闘である。

その後、各職場からの現状報告が続き、大鵬薬品労組が争議勝利後、現場からの

の労組加盟が続いている、という嬉しいレポートもあった。だが多くは「厳しい企業情勢に震災が輪をかける」危機感の表明であった。けれども、震災で春闘を「自粛するのではなく」それらを結合した「復興春闘九五」を取り組むしかないとを確認した。生活・雇用を闘い、とること、そのための春闘総行動（統一行動・春闘速報・連続集会など）が提起された。

最後に出席してくれた京バン・京コン・船場池田・護法労組などの、争議団の全面勝利を誓って交流会を終えた。

2.11~12

# 全国協中央九五春闘討論集会 解雇制限法の設定を

二月一〜二日、全国

協中央春闘討論集会が行われた。参加者は四十名、北は宮城、南は名古屋の組合員が結集した。一日は、元全国一般書記長の佐野さん、権利春闘事務局平賀さんの来賓挨拶に続き、震災後発生している解雇や休業補償、被災した人々への救援等をいかに取り組むかの討論、全国協義援金支出の報告をした。そして、四月以降、一人百円カンパをし

ようとの集会確認を行った。

次に、日本労働弁護団の鶴飼弁護士の労働契約法制に関する講演に入った。鶴飼さんは、「リストラ合理化の一方的な退職強要」を暴き、「労働基準法改正の最後のテーマ」労働契約立法提言が、企業の一方的な就業規則に基づく自主決定になっていることに対し、労使対等の共同決定の立場から、労働法の不備を判例で補う法制化を求めていく、



▲ 2.11~12中央95春闘討論集会 (横浜)

「場合によっては、解雇権の乱用を防ぐ解雇規制法だけでも制定させていきたい」と提起した。そして、雇止め解雇の不当性や、年棒制、解雇権乱用を防ぐ四要件、海外進出(経営上のチェッ

ク等の議論をした。また、闘争報告では、国労闘争団から、政府による損害賠償二百二億円の取り下げでも国労の方針が転換したわけではなく、納得するまで闘争することが表明され、続

約六カ月の間に、私たちはいくつかの成果を上げることができました。ひとつは新宿車掌区拒務差別事件に関し、昨年十一月最高裁から勝利判決を手にしたことです。地労委に申立てを行ってから約七年五カ月で、JR東日本会社の不当労働行為が確定し、断罪されました。この最高裁勝利判決を全組合員のものとして活用し、職場から差別を一掃するために闘っていきます。

ふたつ目は中労委から六本の命令を手にしたことです。九州の採用差別事件の四本の命令は、先に出された北海道採用差別事件の命

## 寄稿

### 九五年国労としての闘争方針

国労本部

命令と、同趣旨の内容となりました。東京の二事件(不当配転、脱退強要)は地労委命令同様、完全な救済命令です。私たちは緊急命令

早く中労委が出すことを要求していきます。中労委の救済命令を数多く積み上げ、JR各社を解決に向かわせる決意です。

最後は二〇二億円損害賠償請求裁判を、取り下げにより昨年末に解決したことです。約十九年間、スト権ストに対する攻撃としてかけられた裁判を解決することができました。一部に路線転換がなされた旨の風聞がありますが、そのようなことはまったくありません。私たちはこれらの成果に立って、不当労働行為の全面解決のためにさらに奮闘します。

2.18~19

# 西日本九五春闘討論集会 復興と春闘をリンクさせ闘う

二月一八〜一九日、福岡において西日本九五春闘討論集会(全労協後援)が開催された。西日本各地の全労協の仲間の他に福岡教組、全港湾九州本部、国労九州本部に九州各地の全国一般全国協の仲間百二十名が結集して活発な討論を行った。

そして、集約は、敗戦五十年、戦争責任・戦後補償を明確にする取り組みを全国運動にすること、また、これからの賃金制度や労働条件の社会的規制の強化を、私たちの生活・労働・社会のあり方を考える討論を行っていくことが確認され、春闘討論集会を終えた。

第一日目(一八日)は、花田熊本学園大学教授、中小路全国連絡会事務局長から、日本の労働運動に対する示唆、あるいは今春闘の情勢を講演してもらい、第二日目は(一九日)には集中した討論が行われた。討論は、阪神大震災の救援にあたっている多くの組合か

らの救援活動の報告と、今後労働組合こそ被災者の方々に援助を行う必要があること、その体制をつくること、また、復興と春闘をリンクさせ春闘自衛論に対決していくことが訴えられた。討論集会後、全国協の仲間間で交流会を行った。この交流会には全国協以外の三労組合わせて三十数名が参加しそれぞれ闘いの交流を行った。参加した三労組には特に大きな激励の拍手が行われ、今後の継続的な連帯を確認し、参加労組は九五春闘に全力を上げることを誓って散会した。

# 全国一般全国協

## 各地で闘う95春闘！

### 東京発 職場を越え、行動する九五春闘

#### 3・23統一ストへ！

全国一般なんぶは、九五春闘において、職場相互の連帯を通じて団結を固めようと考えている。私たちの「行動する春闘」は、地域の団結をブロック活動に作りだし、各地域ブロックの春闘交流会や団交の相互参加などの取り組みを始めている。その「行動する春闘」の大きな波は三・二三統一ストライキで、全力で取り組むことが確認されている。

三・二三統一ストは、争議を支援し、ブロック活動を柱にストライキで闘える体制の確立をめざす。また、この日はJC回答日に予定されており、低額回答や日経連の「ベアゼロ」攻撃に反対する意味も私たちのストライキには含まれている。

この統一ストは、南部権利春闘、石油三単組、全国一般なんぶの主催で、南部権利春闘に結集する組合で闘われる。行動は、なんぶ

#### 全国一般・なんぶ

の二つの争議の社前集会を併行して行ない、その後南部権利春闘統一スト決起集会へ合流する。決起集会の後虎ノ門内幸町までデモ行進し、そして第一勧業銀行本店に対し、ヤマト科学組合役員七名解雇の争議責任追及行動を闘う予定だ。

全国一般南部ヤマト科学労組は、組合を敵視する森川翼ワンマン社長に七名の組合役員が解雇されて以来、十五年間粘り強くこの長期

### 徳島発 私たちの春闘方針

徳島全労協

徳島全労協は三月三日、九五春闘討論集会を開催し、春闘方針・行動日程を議論し決定した。

①ストライキを背景に、大幅賃上げ、反合理化の闘いを加盟組合への激励・交流を計りながら共に闘う。また、県内において、多数の無権利状態にある未組織

争議を闘ってきた。会社は長期争議を抱える中で株式二部上場に失敗して以降深刻な経営悪化を辿っている。職場ではメインバンクの第一勧銀と一体となったリストラを行ない、労働者への犠牲をさらに拡大している。私たちは、今こそ争議を全面解決させ、会社再建を図るべきだと勧銀と会社への闘いを全力で成し遂げるつもりだ。

全国で三・二三統一ストを闘う仲間たちとあつく連帯し、エキサイティングな一日にしたい。ともにがんばろう。

労働者の組織化に向け、情宣労働相談日の開設を行なってゆく。

②国労闘争同様、県内争議(四国電通合同労組地労委闘争、西沢生コン闘争、南海タクシード争)の救援闘争ニュースの発行を行ないながら、地域の仲間と共に闘ってゆく。

③徳島総行動日として、三月二三日に電通合同ストライキ支援、国労闘争情宣ピラマキ、行政闘争を行なってゆく。

④戦後五十年を問う連続フォーラムの成功に向け、積極的にかかわり、反戦反核の運動を担ってゆく。

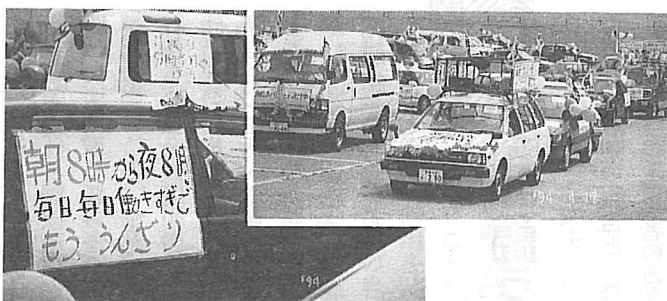
### 宮城発 今年も自動車パレードをするぞ！

宮城合同労組

宮城合同労組は、三月一日に一斉要求し、回答日を一日に指定して九五春闘の本番に臨む。そして二三日の全国協全国闘争の一環として、ストライキ、時間外拒否を配置して闘う。

四月は交渉の山場だが、自動車教習所部会(十校)は、一六日の日曜日、「低賃金・長時間労働打破」を掲げて、仙台市内自動車パレードを敢行する。

未組織の組織化をスローガンだけに終わらせないため、オルグ体制を確立したい。また、仙台市議選・山田幹夫さんの支援を強化していきたい。



とにかく、課題がいっぱいの九五春闘、ともに頑張らしましょう。

⑤阿南火電反対、細川内ダム反対など環境を守る闘いにも市民運動との連携を計りながら共に闘う。以上のことを全力で取り組んでゆきたいと思えます。みなさん、がんばりましょう。